

『東亜』2024年12月号目次

■特集 外交化する“民主主義”

- * カマラ・ハリスの敗北—民主党は誰を忘れたのか 三牧聖子
- * 韓国の民主主義と外交 木村幹
- * 外交化した「中国的民主」 三船恵美

■ASIA STREAM (2024年10-11月)

- * 中国の動向 トランプ氏の復活当選に戸惑う習近平氏 濱本良一
- * 台湾の動向 2025年度国防予算案は対前年比9.6%増 門間理良
- * 朝鮮半島の動向 北朝鮮、ロシアへ派兵 室岡鉄夫

■COMPASS

- * 習近平政権下での愛国主義の変質とその影響 李昊
- * 中国ハイテクものづくり企業、視線は海外へ 山谷剛史
- * 「辺境東アジア」の10年—2024年の台湾、香港、沖縄 劉彦甫

■Briefing Room

- * BRICS からみる日印協力の意義 長尾賢

■Book Review on Asia 今月の一冊

- * 『日本のなかの中国 (日経プレミアシリーズ)』(中島恵著) 嵯峨隆

■CHINA SCOPE

- * 中国サッカー戦記 (3)「全体主義」のせいなのか 竹内誠一郎

■滄海中国

- * 電影中国 児童映画とアニメ映画 吉川龍生

■企画連載 現代中国の現在地：安定・成長・大国 (第3回)

- * 習近平指導部のガバナンス改革と社会の安定 江口伸吾

■巻頭言

- * 民主主義の意味 藤原帰一

■New Publications on Asia

■『東亜』2024年総目次

■表紙写真：Sputnik／共同通信イメージズ

- * 民主主義とは民意を反映させるためのプロセスである。

しかし近年は、英国のブレクジットや第1期トランプ米政権の関税攻勢など、民意の反映や選挙で選出された指導者が進める政策により、その影響が外交に広く及ぶケースが目立ってきている。

一方で、自らの解釈する「民主主義」で国際社会の主導権を得ようと、グローバルサウス諸国を取り込もうとする中口の動きも目立つ。

写真はロシアで開催された BRICS 首脳会合でのプーチン露大統領。